



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の 総 使 用 回 数		
キャベツ	コナガ アオムシ ネキリムシ類 ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ アブラムシ類 アザミウマ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～ 定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注 は1回以内、散 布及び無人航 空機散布は合 計3回以内)		
	キスジノミハムシ バッタ類	2500倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布			
	コナガ アオムシ ウバ類 ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ オオタバコガ アブラムシ類 アザミウマ類	2500～ 5000倍				無人航空 機による 散布			
		25倍	1.6ℓ/10a						
はくさい	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ネキリムシ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～ 定植当日	1回	灌注			
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ オオタバコガ カブラハバチ類 アブラムシ類	2500～ 5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布			
		25倍	1.6ℓ/10a			無人航空 機による 散布			
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ネキリムシ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～ 定植当日	1回	灌注			
	アザミウマ類	2500倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布			
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ ウバ類 アブラムシ類	2500～ 5000倍				無人航空 機による 散布			
		25倍	1.6ℓ/10a						
だいこん	キスジノミハムシ	2500倍	100～300ℓ/10a					散布	3回以内
	アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ	2500～ 5000倍							
非結球あぶら な科葉菜類 (こまつなを除く)	コナガ	5000倍		2回以内			2回以内		





適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の 総 使 用 回 数
こ ま つ な	コナガ	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	定植前日～ 定植当日	1 回	灌注	3回以内(灌注 は1回以内、散 布は2回以内)
		2500～ 5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
い ち ご	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500倍					
		コナジラミ類	2500倍				
ね ん ぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～ 定植当日	1 回	灌注	4回以内(灌注 は1回以内、散 布及び無人航 空機散布は合 計 3 回以内)
	シロイチモジヨトウ			定植当日			
	クロバネキノコバエ類	2500倍	100～300ℓ/10a	収穫 3 日前まで	3 回以内	散布	
	シロイチモジヨトウ ネギコガ	2500～ 5000倍					
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	25倍				1.6ℓ/10a	
レ タ ス 非結球レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット1冊(約30× 60cm、使用土壌約 1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～ 定植当日	1 回	灌注	3 回以内
	ウワバ類 ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500～ 5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	
		25倍				1.6ℓ/10a	
え だ ま め	マメシクイガ ハスモンヨトウ	5000～ 10000倍	100～300ℓ/10a			収穫前日まで	3 回以内
	ウコンノメイガ コガネムシ類 ツメクサガ	5000倍					
	マメシクイガ ハスモンヨトウ	50倍	1.6ℓ/10a	無人航空 機による 散布			
		32～64倍	0.8ℓ/10a				
	ウコンノメイガ コガネムシ類 ツメクサガ	50倍	1.6ℓ/10a				
	32倍	0.8ℓ/10a					
だ い す	マメシクイガ ハスモンヨトウ	5000～ 10000倍	100～300ℓ/10a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
	ウコンノメイガ コガネムシ類 ツメクサガ	5000倍					
	マメシクイガ ハスモンヨトウ	50倍	1.6ℓ/10a			無人航空 機による 散布	
		32～64倍	0.8ℓ/10a				
	ウコンノメイガ コガネムシ類 ツメクサガ	50倍	1.6ℓ/10a				
		32倍	0.8ℓ/10a				
さやいんげん さやえんどう	ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
ほうれんそう		5000倍		収穫 7 日前まで			
さ と い も		50倍	1.6ℓ/10a	収穫前日まで	2 回以内	無人航空 機による 散布	2 回以内





適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の 総 使 用 回 数
未成熟とうもろこし	オオタバコガ アウノメイガ ツマジロクサヨトウ	5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
		50倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
なす	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～ 定植当日	1 回	灌注	4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類	2500倍					
トマト ミニトマト	ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～ 定植当日	1 回	灌注	
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	
	トマトキバガ コナジラミ類 アザミウマ類	2500倍					
ピーマン	アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～ 定植当日	1 回	灌注	
	オオタバコガ アブラムシ類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	
	コナジラミ類	2500倍					
きゅうり	ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～ 定植当日	1 回	灌注	
	ハスモンヨトウ ウリノメイガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類 ウリハムシ	2500倍					
メロン	ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～ 定植当日	1 回	灌注	3回以内(灌注は1回以内、散布は2回以内)
	ウリノメイガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	
	アザミウマ類 コナジラミ類	2500倍					
すいか	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～ 定植当日	1 回	灌注	
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ウリノメイガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類	2500倍					





適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の 総 使 用 回 数						
なし	アブラムシ類 アザミウマ類	5000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内						
	ヒメボクトウ ハマキムシ類 シンクイムシ類	5000～ 10000倍											
もも類	コスカシバ モモハモグリガ ハマキムシ類 シンクイムシ類 コガネムシ類												
ぶどう	モンキクロノメイガ チャノキイロアザミウマ クビアカスカシバ ハマキムシ類 コガネムシ類			収穫 7 日前まで									
かき	カキノヘタムシガ ハマキムシ類 ヒメコスカシバ コガネムシ類			200～700ℓ/10a				収穫前日まで					
	アザミウマ類								5000倍				
りんご	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ギンモンハモグリガ キンモンボンガ ヒメボクトウ オオタバコガ コガネムシ類			5000～ 10000倍									
	ヨモギエダシヤク			5000倍									
小粒核果類 (すももを除く)	ケムシ類												
すもも	ケムシ類 シンクイムシ類												
おうとう	ハマキムシ類 ケムシ類 コガネムシ類 オウトウショウジョウバエ			2500倍					200～400ℓ/10a	摘採 7 日前まで	1 回	1 回	1 回
茶	チャノミドリヒメコバイ ナガチャコガネ成虫												
	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノボンガ ヨモギエダシヤク チャノキイロアザミウマ マダラカサハラハムシ			2500～ 5000倍									
花き類・ 観葉植物	ハスモンヨトウ	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー ポット 1 冊 (約30× 60cm、使用土壌約 1.5～4ℓ) 当り0.5ℓ	定植前日～ 定植当日	3 回以内	灌注	4 回以内 (灌注 は 1 回以内、散 布は 3 回以内)						
	アザミウマ類	2500倍	100～300ℓ/10a	発生初期		散布							
	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500～ 5000倍											
樹木類	ケムシ類	5000倍	200～700ℓ/10a				3 回以内						





⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用する。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節する。
- みずかけな（水掛菜）、カラー及び花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用する。また、使用後14日間は入水しない。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守る。
 - ①散布は散布機種 of 散布基準に従って実施する。
 - ②散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせる。
- つまみ菜・間引き菜には使用しない。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しない。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - ③関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意する。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保 管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

